

リクナビに広告を出す理由 ～人が育つ会社論～

日本の就活は、若者の活力を奪う装置になっていないか

アソブロックの社長に戻り、就職ナビサイトへの掲載を再開した。

リクナビ。

オワコンと言われようが、やはり今も多く的大学生が見ているわけで、就活が日本の若者の活力をある意味奪っている側面もあると思う身からすれば、一石を投じるならここだと思い、「世の中には、いろんな会社があるんだなあ」ということを伝えるためだけに、ナビサイトに掲載をしている。

なので文章もちゃんと違和感を感じてもらえるように。

エントリーを募るために、本音と建前を使い分けたりはしない。

きもっ！と思われたら本望で、でも、きもくても 20 年続く会社もあるわけで、

- ・内定を得るためには本音と建前を上手に使い分けることが大切だ
- ・社会人になるということは、子どもみたいなことを言わないということだ

などという学習は、決してマストではないと。

そんなメッセージが、ひとりでもふたりにでも届いたらと思っている。

ということで、リクナビに掲載した広告文を共有させていただきたい。



【私たちはこんな事業をしています】（←見出しはリクナビが指定する）

主な事業はありません。

例えば、私たちは世田谷区で「駒沢こもれびプロジェクト」を主導しています。

でも地域活性事業者かと問われれば、そうとも言えません。

私たちが取り組む理由はひとつ。

「駒沢をより善くしたい」と強く願う依頼者を、心から応援したいと思うからです。

例えば、私たちは大人の学び場をいくつか開いています。

でも社会人教育事業者かと…（以下同文）。

私たちが最も大切にすること、それは――

【当社の魅力はここ!!】（←同上）

●人が育つこと

これに尽きると言っても過言ではありません。会社って、100 社あれば、100 通りの在り方があってしかるべきだと思います。ただ現実には、事業は100 通りあっても、会社の在り方は「みんなで事業を大きくする」ということに集約されがちです。例えるなら、事業という神輿を、みんなで担いでいる感じ。でも私たちは、神輿が人で、担ぎ手が事業だと考えています。もちろん事業（仕事）はとても大切ですが、それは、人の育ちに不可欠だから。極端に言えば、儲かる事業でも「やりたい人」がいなければ、やりません。だから、主たる事業が、ないのです。

●育つとは、選択肢が増えること

私たちは、会社を「人の成長支援プラットフォーム」だと位置づけています。では成長とは何か？ それは、「選択肢が増えること」だと私たちは考えます。例えば、今この文章を読んでいる皆さんは「起業する」という選択肢は持ちにくいのではないのでしょうか？ 「卒業後は渡欧して現地企業で働く」という選択肢も、持ちにくいのではないでし

ようか？ 成長するとは、それらをも可能にすること。つまり、社会に有用な私として、どこでも生きていける自分になる、ということです。私たちは「生きるために働く」という考え方が好きではありません。その言い方が「働くことの本質」と向き合う機会を遠ざけさせていると思うからです。

●アソブロックは、ニュータイプのブラック企業を目指しています

私たちはニュータイプのブラック企業を目指しています。と聞くと、引く人もいるでしょう。この言葉には、「ブラック」や「ハラスメント」という言い方で会社が距離を置いたものの中に、本来、人材育成に向けて失うべきではなかった要素がたくさんあったのではないか、という想いを込めています。先輩から何一つ怒られなくて、成長できますか？

「無理しなくていいよ」と声をかけられ続けられて、一流になれるですか？ 「新卒即戦力採用」なんて、育成放棄の言い換えだと私たちは考えます。もちろん、全員に頷いてほしいと思っているわけではありません。あくまで、私たちのスタンスだにご理解ください。

【インターンシップの内容について】

●色んな生き方をする大人に出会えると思う、たぶん。それはきっと、今必要なこと

皆さんに何をしてもらって、正直、私たちの的にはどうでもよくて。とにかく、大学卒業までに色んな大人に出会ってほしいと思います。でも、もちろん、プログラムに興味を抱いて参加してくださるのも大歓迎です！

ほかに、勤務条件などを書く欄があり、そこはこのように書いた（一部抜粋）。

▶雇用区分

社員、委託、契約。アソブロックにおいて、そういった雇用区分に意味はありません。アソブロックに関係するひとたちは、等しく「メンバー」です。

▶就業規則

アソブロックには、就業規則はありません。好きなだけ働くことができます。ここでいう「好きなだけ」とは、自分自身にとってベストな就業時間を理解し、設定し、そう働けるように仲間にも共感してもらえんことを指します。

▶チームが大切にすること

みんなでご飯を囲むこと。

新入社員の目標は、事務所近く・あけぼのばし商店街の飲食店を、片っ端からすべて食べることに。

▶卒業制度

アソブロックは、独立も積極応援しています。
人がより良く育つには、ずっと一か所にいることが必ずしもベストではありません。
故郷には、離れてみて分かる良さもあります。

▶好きな人物像

動く哲学者。

▶事務所近くのパン屋

小麦と酵母 満
味付たまご（180 円）がおいしい。

▶事務所近くのトンカツ屋

とんかつ 山さき
ロースカツ定食は、800 円。安くておいしい。

▶事務所のゴミ出し日

燃やすゴミ 水・土
資源ごみ 金

▶事務所のいいところ

桜が大きい。梅がなってる。小さい植物もたくさんある。雨が降ると尚きれい。

▶人事スタッフ・熊谷の働き方

アソブロックの業務に加え、フリーの編集者に就いてアシスタント・スタッフ業を兼務。
スーパーの品出しバイト（早朝）も週 3 日で行う。最近、バイトメンバーでバンドを組むことになった。熊谷はボーカルらしい。

▶人事スタッフ・熊谷の最近の出来事（本人執筆）

千葉にある某巨大テーマパークは、あまり好きではない。
そう言っていたら、同じことを言うメンバーが 4 人集まったので、夕方パスを使って行ってみた。好いていないことがバレたのか、その日は傘を貫通するほどの大雨。
乗り物にたくさん乗った。カチューシャもポップコーンもちちゃんと買った。

子どもの頃には気づかなかった宣伝広告をたくさん見つけ、
夢の国もいつだって現実と戦っていることを実感し、なんだかよかった。

掲載後、いろんな反響をもらったが、その大半は「よく広告審査が通ったな（笑）」というもの。たしかに、就業規則は法令的になるとダメだ。

ちなみに、アソブロックにも就業規則はあって、顧問の社会保険労務士が、アソブロックの実態と法令をぎりぎりにマージしたものを作っているらしい。らしい、というのは私が興味もなく見たことがないから。そんな親切な顧問の先生たちも、アソブロックの成長支援プラットフォームの担い手である。

文／だん・あそぶ

「人の成長に資する場づくり」をポリシーに、アソブロック株式会社、株式会社 ea、有限会社 salvia、株式会社小さな広場ほか、10 社近くの業態様々な会社の経営・運営に携わる。その独自の経営手法が、働き方改革の流れで注目され、全国でワークショップや講演も行っている。21 年より対人援助学会理事。24 年 4 月に軽井沢にある学校法人風越学園の理事に就任した。

団遊の組織論； <https://corp.netprotections.com/thinkabout/1536/>

団遊の採用論； <https://job.cinra.net/special/asoblock/>

仕事を辞めたくなったときに； <https://goo.gl/bFQdpC>